

2022年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】		所管課	文化スポーツ課
施設名	須坂市旧小田切家住宅		
所在地	須坂市大字須坂423-1		
施設設置目的	旧小田切家住宅の保存を図り、広く公開及び活動するとともに、市民文化の向上に資するため		
施設概要・設備	木造地上一部2階 敷地面積1325.11㎡ 延床面積940.82㎡		
建設年月	2016年3月	指定管理開始年月	2016年4月

【指定管理概要】

指定管理者名	(一財)須坂市文化振興事業団		
指定期間	2022年4月1日～2027年3月31日		
業務内容	(1) 閲覧及び工房の利用の許可並びに許可の取消し及び停止に関する業務 (2) 施設及び備品等の維持管理に関する業務 (3) 観覧料等の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 文化芸術の振興及び普及のため実施する事業に関する業務		
職員体制	常勤:3名 非常勤:3名 合計:6名		
(専門職、役職等内訳)	学芸員1名		

1 施設利用状況

項目	単位	目標値	実績			対前年比	対目標値
			2020年度	2021年度	2022年度		
入場者数	人	-	3,840	5,630	5,301	94.2%	
特記事項	目標値はコロナ禍により設定していない。						

2 収支の状況

単位:千円

指定管理者			市		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
収入	指定管理料		収入	使用料・手数料	
	使用料・手数料				
	その他			その他	
	収入計			収入計	
支出	人件費		支出	指定管理料	
	需用費			修繕費	
	役務費			備品購入費	
	その他			その他	
	支出計			支出計	
管理事業損益 (a)			管理事業損益		

損益 (a) + (b) 管理事業損益 + 自主事業損益	
---------------------------------	--

特記事項	収支状況は、文化会館に含む。
------	----------------

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	
--------	--

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考
合計			自主事業損益(b)

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等)
	アンケート記入方式(来館者)
	(2) 調査等の結果
	57人回答
②利用者からの声	(1)良好とする評価
	○古い住宅ですが手入れが行き届き、いつまでも残して欲しい。(80代女性) ○心を打たれる作品が多くあり、とても楽しい時を過ごすことができた。(10代男性) ○温かみのある展示をされていて癒される。(10代女性) ○なつかしさがよみがえり、気持ちが良い。(60代男性) ○様々な建築の構造を見ることができ、とても勉強になった。(10代男性)
	(2)苦情・改善の要望
	○駐車場が分かりにくい。
③対応措置	○駐車場がわかる図面をお渡しし、丁寧に説明をしている。

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	○	2
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	○	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	2
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	○	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	○	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	3
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	○	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	◎	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	○	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	○	2
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	2
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	○	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組みが整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

合計点 15 点

総合評価 A

評点

- ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
- ・各項目の評価がすべて○…2点
- ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
- ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価

- A (優れている) 合計15点以上
- B (適正) 合計14点
- B' (若干の改善が必要) 合計11点~13点
- C (さらなる努力が必要) 合計10点以下

評価基準

- ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
- … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
- △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
- × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。

6 指定管理者による自己評価

(1) 今年度の取り組みに対する評価

企画展として、2016年度から開催している長野県ゆかりの工芸作家展を人形・漆芸・陶芸の3企画を開催した。特に漆芸は、2020年度に日本伝統工芸展にて奨励賞を受賞した若手の作家の紹介となり、当館では初めての展示となった。また、併せて小田切家の収蔵品を紹介する収蔵品展を2回企画し開催した。

来館者に伝統工芸に興味を持っていただくとともに、小田切家を知っていただく機会にもなった。

(2) 課題

来館者が5,301人で観覧料が664,920円で来館者数は対前年比94.2%、観覧料が対前年比101.3%という状況で来館者数をいかに増加させるかは喫緊の課題である。

そのため、須坂市の建造物で唯一長野県宝となっている当館を知っていただくPRをより強くしていく必要がある。

(3) 次年度以降の取り組み

長野県ゆかりの工芸作家の紹介として、須坂市出身の陶芸の土屋晃展の開催。

岡信孝画伯の祖父であり師匠でもあった、文化勲章画家の川端龍子の作品を岡信孝画伯の作品と併せて須坂クラシック美術館と共に展示する。

佐久市在住の陶芸作家の藤野貴則展の開催。

旧小田切家住宅12代当主小田切辰之助の功績を紙芝居にする。

季節ごとの行事の日に食べると言われている行事食の提供を実施する。

(4) その他

7 市による総合評価

(1) 今年度の取り組みに対する総合評価

施設の管理状況は概ね良好

毎朝、職員の出勤時には、館内清掃、整理整頓を実施しており、常時清潔感のある環境が保たれている。

コロナ禍の影響が少なからずあった中で、館の特色に合ったワークショップや、長野県ゆかりの工芸作家展などを開催するとともに、喫茶のメニュー充実など、様々な運営努力をされている。